

勝利の新聞

しばの勝利 連絡先 草加市北谷2-19-12 048(941)5150【FAX兼用】 第53号 平成28年4月
ホームページ <http://www.shibano.info/>



ひとこと

本年度の予算を決める議会が3月に終了しました。この議場で最後の議会となり、議場は閉鎖されました。6月議会からは、仮議場が第二庁舎に用意されます。

昭和40年12月に初議会を開いてから、半世紀50年にわたり、草加市の予算や条例を審議されてきた訳です。この間、市長8名、議員155名。

私の誕生前から歴史ある本市の予算・条例等、市政にかかわってきた方々。その一員として現在いることに、重圧を改めて感じました。これまでの50年は、何だかんだ言っても、人口が増加し、経済の発展にも恵まれ、予算も増加傾向にありました。建設予算が多い時期もあり、街づくりが進められてきました。

現在では民生費が多い傾向にあります。今後50年は、間違いなく人口減少、予算減少になります。民生費は更に増加し、街のつくり方、あり方も知恵と新たな取り組みが必要になってくるでしょう。次世代につけを回すのではなく、しっかり襷をつなげる様、今後も鋭意努めていきます。皆様もご意見をください。

草加市議会議員

しばの勝利

きりとり



皆様のご意見をお聞かせください。

平成28年度一般会計予算	718億4,840万円 (+1.6%)
特別会計予算の合計	551億2,073万円 (-1.5%)
総額	1,266億473万円 (+0.2%)

市民の方々の努力と市内事業者さんの頑張りがあり、プラス予算となりました。

一般会計から特別会計への流れは、右表のとおりとなります。公共下水道事業においては、総務省より公営企業会計を適用するよう通達があり、地方公営企業法の一部適用を視野に入れているとのことでした。また、中学校へ災害用にマンホールトイレを設置(61基)します。更に、地方債が433億6,049万円あるが、マイナス金利の時代、借り換え等を検討すべきと指摘しました。国民健康保険については、値上げとなる世帯と値下げとなる世帯が出るが、計算式を変えることにより、県からの補助金が増加する方法を導入したとのことでした。しかし、社会保険制度で、企業等に負担を負わせている以上、これだけの繰り出しは平等ではないと指摘しました。

特別会計名称	一般会計からの繰出額
公共下水道事業	35億8,427万円
交通災害共済事業	686万円
新田西部土地区画整理事業	1億3,072万円
駐車場事業	0円
新田駅西口土地区画整理事業	1億9,359万円
国民健康保険	33億5,883万円
介護保険	18億9,910万円
後期高齢者医療	3億9,502万円

(国民健康保険加入世帯は、4万689世帯、全体の36.4%)

また、特別会計以外への主な繰出金については、市立病院へ16億3,071万円、体育協会へ3億3,976万円、商工会議所へ2,800万円、観光協会へ247万円、文化協会へ1億8,025万円、社会福祉協議会へ5,994万円等があります。

平成28年度の主な事業

★本庁舎建設事業 1,268万円

老朽化した市役所本庁舎の建て替えに向けた基本計画の策定が進められます。

★都市証明施設整備事業 2億6千万円

街路灯の不点灯箇所の解消と、電気料金や修繕費などの削減を図るため、市内全域のLED化が実施されます。

★学力向上推進事業 1,944万円

児童生徒の学力向上を図るため、市独自に学力状況調査を実施し、学力向上推進校へ補助員が配置されます。

★町会・自治会活動推進事業 3,958万円

市民同士のつながりの基礎である地域コミュニティの維持・発展を図るため、町会・自治会の活動に対する支援が充実されます。

★きたや保育園建替事業 1億4,875万円

きたや保育園の移転に向けて、新たな園舎の建設工事が始まります。

平成28年4月1日から 草加市消防本部と八潮市消防本部が統合

火事・救急・救助

119番通報の方法は変わりません

災害現場に最も近い消防署所から出動することにより、災害現場への到着時間が短縮されます。

また、スケールメリットを活かした消防体制が期待できます。

本部位置・名称	草加市神明2-2-2 草加八潮消防局
消防署所	消防本部 1本部 消防署 2署 分署等 4分署
管轄人口	33万1,999人
管轄面積	45.48平方キロ
保有消防車両	指揮車 2台 消防車 11台 はしご車 2台 化学車 2台 特殊災害対応車 1台 救助工作車 2台 救急車 10台